



東京都交通局



NANKAI



阪堺電車

平成22年5月14日
東京都交通局
南海電気鉄道株式会社
阪堺電気軌道株式会社

東京都交通局と南海電鉄・阪堺電車の共同PR

都電荒川線に阪堺カラーの、阪堺電車に都電カラーの路面電車が走ります

東京都交通局(東京都新宿区)と南海グループ(大阪市中央区〔南海電鉄])は、東京タワーと通天閣(設計者が同じ兄弟タワー)、浅草寺と住吉大社など、全国的に有名な観光名所や寺社仏閣が沿線にあることや、ともに都心から空港へのアクセスを担っていること、路面電車(都電荒川線・阪堺電車)を運行していることなど、多くの共通点を有しています。そのため、コラボレーションポスター「東西駅前自慢相撲」など、共同での旅客誘致活動を平成20年から継続して実施しています。

そしてこのたび、都電荒川線・阪堺電車それぞれの沿線のさらなる活性化を目的に、両路線の車両各1両を互いのカラーに塗り替え、「PR相互乗り入れ」として6月6日(日)から運行します。これにより、都電荒川線には阪堺電車の昭和40年代のカラーの電車が、阪堺電車には都電荒川線の昭和20~50年代のカラーの電車が走ることとなります。なお、カラー交換は東京都交通局と阪堺電車にとって初の試みです。

そのほか、三社(局)のエリアにおいて、各社の沿線における魅力と企画乗車券のPRを目的としたキャンペーンを展開し、東京から大阪へ、大阪から東京への旅客誘致を図ります。

詳細は別紙のとおりです。



塗装を施す車両(左:都電荒川線・7500形車両、右:阪堺電車・モ501形車両)

東京都交通局と南海電鉄・阪堺電車の共同PRについて

1. 都電荒川線と阪堺電車の「PR相互乗り入れ」について

東京都交通局と阪堺電車では、共同PRの一環として、都電荒川線および阪堺電車の車両を、お互いの旧塗装色に塗り替えて「PR相互乗り入れ」として運行します。

(1) 塗装対象車両およびカラーリング

都電荒川線 7500 形 1 両を阪堺電車の緑色塗装に、
阪堺電車モ 501 形 1 両を黄色赤帯塗装に、
それぞれ変更します（実際の車両そのものの乗り入れはありません）。

(2) 運行期間

都電荒川線：平成 22 年 6 月 6 日(日)から平成 23 年 3 月頃まで
阪 堺 電 車：平成 22 年 6 月 6 日(日)から 2 年程度

(3) その他

東京都交通局および阪堺電車の「路面電車の日」のイベントで「荒川線・阪堺電車『PR相互乗り入れ』開始セレモニー」などを実施する予定です。
（「路面電車の日」のイベントの詳細は、両社(局)から別途お知らせいたします。）

< 都電荒川線車両への塗装 >



都電荒川線・7500 形車両

阪堺電車旧塗装色
(昭和 40 年ごろ)

< 阪堺電車車両への塗装 >



阪堺電車・モ 501 形車両

都電荒川線旧塗装色
(昭和 24 ~ 53 年)

2. その他の共同PRについて

(1) 車内吊りポスターの掲出 (B3ポスター)

各社(局)が発売している企画乗車券を紹介するコラボレーションポスターを作成し、それぞれの電車内に掲出します。

大阪出張きっぷと東京トラベル1DAYパス(7月11日(日)から)

堺・住吉まん福チケットと都営まるごときっぷ(9月ごろ予定)

(2) 東京都交通局、南海電鉄、阪堺電車の沿線PRパンフレットの配布

7月11日(日)から、阪堺電車と都電荒川線を中心に、各社(局)の沿線の魅力をPRするパンフレットを配布します。

配布箇所：都営地下鉄各駅(押上、目黒、白金台、白金高輪、新宿線新宿を除く)

荒川電車営業所

日暮里・舎人ライナー日暮里駅

南海電鉄各駅

阪堺電車主要駅

サイズ等：A4版12ページ

発行部数：東京都交通局10万部、南海電鉄2万部、阪堺電車5千部

以上